

しんぶん
赤旗

日刊 ●月 3497円
日曜版 ●月 990円

南地域後援会は本町・寿・緑・若松・栄・白山・船戸・新田がエリア

連絡をいただければ「しんぶん赤旗」の見本を届けます



しらかば

日本共産党我孫子南地域後援会
発行責任者 木村 文次

12月議会 市議会議員の定数削減を強行採決

議会初日に議員定数削減を強行採決

12月2日我孫子市議会は、12月議会の初日に議員定数を24人から21人にすることを強行採決した。9月議会では、水道料金を来年4月から3〜4割の大幅値上げを決め、自転車駐輪料金を平均20%の値上げを決めたばかりだ。市内の使用料金も次々と上げ、かくも議会とは市民の暮らしをひどくすることだけなのか。諸物価が上がっているなか、国が具体的な対策を示せない時、せめて地方自治体が防波堤になってもらわなくてはならないのではないか。この時に2年間も議員定数問題で時間を費やしている場合ではないでしょうか。

日本共産党市議団が反対を主張

本会議では質疑討論が行われたが、反対討論をした日本共産党市議団の2人と他3人の5人のみの反対、18人の賛成で採決の結果削減が決まった。同時に反対の請願・陳情は「みなし不採択」と

財源の問題と議員定数は別問題

問題点の第1は、市の財政が厳しいというのが3人減りしても予算の0.05%にもならない。それよりも公共工事の代金が世間一般よりも高額であることが問題となっており入札も数社にし、厳しいチェックをすればかなり捻出できると聞いている。又、議員は三元制の代表者でもあり、財政が厳しいからといって簡単に削減できる性格のものではない。

公聴会では議員定数削減反対が多数

第2に公聴会では、賛成2人、反対7人であった。反対意見は、全員が我孫子市政に真摯に向き合い、削減理由の合理性がなく現状の市政が局面している諸問題の解決に逆行する、と懸念する意見が多く見られた。賛成意見の中には市民に対し



なり議案として扱われなかった。

て議員の声が届きにくくなるので、IT等の活用をすべく、削減すれば市民が市政から遠ざかることを認めたものであった。このことは本会議における一議員の賛成討論と全く同じであった。

市民の知らぬ間に決めた問題か?

第3に、重大なことは今回の定数削減問題についてどれだけ市民が内容を知っていたのかである。広報の「議決より」に2回出されていしたが、詳細が全く示されていない。公聴会からの流れを見れば議会制民主主義の根幹をなす議員定数に関することを、市民の意見を聞かず一部の思惑で進められたと言わざるをえない。



日本共産党我孫子市議団のホームページのサイトは <https://jcp-abiko.com/> です。スマホのQRコードはこちらから。→



日帰り散策 報告

この様なやり方はますます市民から市政と議員活動とを遠ざける結果となるのではないかと。2027年11月に行われる次期市議会議員選挙に日までに元に戻し、一層市政への市民一人ひとりの参加でより良い市政発展をめざしたい。(ついで編集)

11月16日、久しぶりの「秋の散策」は利根川を超えて、旧水戸街道沿いの旧取手宿と、その周辺にある長禅寺などの文化財を散策しました。旧取手宿本陣染野家住宅では、沢山の部屋と造り。手入れが行き届いた庭など、スケールの大きさに圧倒されました。



利根川対岸を渡る「小堀の渡し」は船の出発時間が合わず断念。それでも散策途中にある奈良漬店では試食に舌を発見して大喜びの参加者も。天気にも恵まれた散策でした。(緑S)

市政を語る会・総会のお知らせ

▼アビスタ2階第2和室 (手賀沼公園内)
▼12月14日(日)14:00から
当日は市政報告の後、総会を予定しています。
国政・市政・暮らしの事などに話せる場にしますのでごぞって参加下さい。
主催: 日本共産党我孫子南地域後援会

オオバン

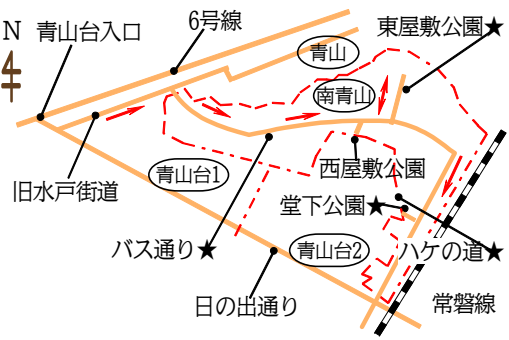
先日冬晴れのもと、しらかば後援会主催の「取手宿散策」に参加した。どの場所も整備が行き届き、民家なども歴史的建造物として遺されていた▼私の住んでいる我孫子市はどうかと考えてみた。大光寺から旧鈴木屋近辺が旧水戸街道我孫子宿の中心地であった▼我孫子宿本陣は柱一本に「我孫子宿本陣跡」の案内板があるのみ、向い側の茅葺屋根の個人宅は案内板もなく「我孫子宿本陣跡」だった往時を偲ぶこともできない▼市内には歴史を経た神社仏閣も多くあるが観光案内から抜けている所がある▼「北の鎌倉」とは名ばかりであり「ハケの道」はデコボコ道で散策には適さないあり様である。何度か市に直してもうったことがあり、カブー歩道にと提案もしている▼市内には太古の遺跡も多く、武家社会から近代・現代に至る多くの貴重な史跡や物品も遺されておりこれらは重要な観光資源ともいえるものである▼そこで提案したい。市内の公的施設で使われていない建物を活用して「民俗資料館」を設立してもらいたい。市と市民が協同すれば出来ないことではないと思う。

(N)

我孫子古道巡り

その89

柴崎から青山を巡る⑤



今回は「南青山」を巡ります。南青山は青山の旧水戸街道沿いの集落の南側と、字西台、字東台の丘陵地に挟まれた低地です。「スポン」の様な形状をした地域です。この辺りは元々は農地で開発当時は、休耕田が多かった様です。

特に旧水戸街道沿いの青山との境界線は「ジグザグ」で青山の集落の古くから続く歴史を感じます。

南青山は昭和55年、都市計画区域区分により誕生しました。その後、区画整理事業に着手し、昭和62年に起工式が行われ、予定より5年遅れの平成10年に完了しました。

「青山台入口交差点」から



東屋敷公園



南青山の街並み



「南青山西」バス停

旧水戸街道を進みます。街道を東に入ると坂東バスの「南青山循環」が通るバス

戻り、南に進むと「日の出通り」に突き当たります。参考文献「我孫子の地名と歴史」

采 関口



ハケの道

ると「堂下公園」です。この3つの公園名は字名で昔の名残です。堂下公園の先を進むと「字東台」の崖下でハケの道が見られます。



堂下公園

入ると「西屋敷公園」、北に入ると「東屋敷公園」があります。バス通りは常磐線に沿って南に向かいます。西に入ると「西屋敷公園」、北に入ると「東屋敷公園」があります。

この一往復増のために充てられた車両は、ダイヤ改正でディーゼル特急から電車特急に替わった「はつかり」と同じ新型車両(583系)でした。といっても「ゆうづる」から寝台車がなくなった訳ではなく、一編成13両のうち、1等車(現グリーン車)と食堂車以外の11両は全て2等寝台車(現B寝台車)・普通車の寝台車)で、寝台専用とも



583系寝台特急「ゆうづる」

新型車両は座席車として使われますが、夜は寝台をセットして寝台特急「ゆうづる」と、既に東北本線経由で運転している「はつかり」(こちらはブルートレインから電車特急に置き替え)として使われるもので、以前流行語にもなった

43-10(よんさんとう)

常磐線あれこれ 58

いえる列車でした。

しらかば文芸欄 39 下総の寺院・白山 I



印西市にあります結縁寺(けつえんじ)。本堂には国指定重要文化財「銅造不動明王立像」が安置されています。右手に宝剣、左手に繯索(けんさく)を持ち、両目を強く見開き上下の牙で唇をかみしめています。

真言宗豊山派の結縁寺は「お不動さん」と呼ばれて、毎年9月28日に御開帳されます。

お誘い合わせて訪れてみてはいかがでしょうか。

アクセスー成田線木下駅南口
ふれあいバス中ルート・高花団地入口下車徒歩5〜7分

像高は47センチの小像ですが、裳に「嘉元元年(1303年) 癸卯九月十五日願主権律師瀧尊」と銘が刻まれています。



「パンジー」

若松・高橋祥子

「二刀流」(平成の流行語では「24時間戦えますか」)ともいえる「昼夜兼行形」で、世界にも類を見ない車両でした。

特に寝台車では、従来のブルートレインに比べて寝台幅は上・中段で約20センチ広い70センチ。下段については1等寝台車(現A寝台車)・グリーン車)と殆ど同じ約100センチと広く、これまでの2等寝台車の概念を壊す画期的ともいえる快作でした。

(次号へ続く) (緑 竹内)



583系車内(2等座席車)



583系車内(2等寝台車)